



2013年 JCNA テーマ  
“*Pacem sectamini cum omnibus.*”

平和のために働く人は幸い (マタイ書 5:9)

“*Happy are those who work for peace*” (Mathew 5:9)

フランシスコ教皇様とともに

日本カトリック看護協会会長 城 麗子

日本カトリック看護協会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今年は、新しくフランシスコ教皇様のご就任となりました。病み、苦しむ人がいるところに、キリストはおられるからこそ、教皇様と想いをひとつに歩みたいと思います。

昨年(2012.7.20~7.21)はJCMAが70周年を兼ねた第2回日本カトリック医療団体協議会全国大会「病む人に寄り添う医療」が神戸で盛大に行われ、実り大きい年でした。(大会誌は大阪支部・姫路Gが発行し郵送済)しかし、長年JCNAの顧問司祭としてご尽力くださった川上神父様が、晩秋(2012年11.30)に天国へと旅立たれました。寂しい限りですが、これからもいつも私たちと共にいて下さると思います。また、川上神父様があとを託された、飯野雅彦神父様に、今回ご挨拶文を賜る予定でしたが、大変なご多忙であり、体調をくずされまして現在ご入院中でございます。元気に回復されますよう、会員の皆様にはお祈りをお願い申し上げます。病床より「キリストの輝き」の祈りがJCNAの祈りとして加わることを望まれました。皆さまによろしくとのことでした。

ところで、東日本大震災から2年が過ぎました。大切な人々を失いさまざまな被害、残された原発問題などその計り知れぬ悲嘆を乗り越え、JCNAの仙台支部は準備を進め、10月に第55回日本カトリック看護協会全国大会 in 仙台開催のはこびとなりました。復興に向かって遅くキリストと共に歩んでいこうとしている仙台へのご支援をこめて、会員の皆様にはお誘いあわせの上、ご多忙とは存じますが、何卒ご出席くださいますよう心よりお願い申し上げます。キリストにありて(2013.6.24記)

JCNA 通信 No.14 主な内容

- ・第5回ザンビア CICIAMS(国際カトリック医療従事者協議会)世界総会会議報告
- ・第57回日本カトリック看護協会全国総会報告
- ・JCNA 本部役員会報告(2011年度~2012年度に開催されたもの)



第5回ザンビア CICIAMS (国際カトリック医療従事者協議会) 世界総会会議報告

2012 9月8日 記

日本カトリック看護協会 副会長

CICIAMS 担当 Sr 沢 禮子

2012年6月24日か29日の間に開催された表記の会議に出席したので、概要を以下のとおり報告します。

モットー：祈りと微笑みで

テーマ：癒しの道具

場所：ザンビア国ルサカ ミカホテル。

会議は本部役員会が6月24日に開催され、CICIAMS 本部委員総会が6月25日と26日に開催された。これは2年ごとに開催されるが、また4年ごとに会長以下全役員の任期が終了し選挙が実施される。CICIAMS 本部委員総会は本部役員と各国の会長及び代表1名が参加します。

今回のザンビア会議は城会長と本部役員会で指名を受けた沢副会長が JCNA の代表として、本部委員会総会に出席したものです。2日間にわたる盛り沢山の内容の会議でありました。2日目の午前中は第5回アフリカ地区大会(英語) 荘厳ミサがカテドラルで行われ、ついで大会の正式開会宣言の式が行われました。全員が参加し、引続き総会がおこなわれ、17時に閉会しました。

CICIAMS General Council Meeting は世界総会で CICIAMS の決議機関である。議事は JCNA 全国総会に準ずる。

- 1) 歓迎と開会のあいさつ 国際会長 Mrs. Marylee Meehan
- 2) CICIAMS の祈り
- 3) 出欠点呼 各国名がよばれ出席国は起立する。
- 4) 議題の是認
- 5) 前回メキシコで開催された全国総会の議事録の承認
- 6) 新入会国の紹介
- 7) 国際会長の4年間の活動報告 Mrs. Marylee Meehan
- 8) 総秘書 Ms. Josephine Bartley の4年間の本部活動報告
- 9) 会計報告 Ms. Barnie Spillane 決算
- 10) 副会長(各地域の会長)の報告
  - a) アフリカ(英語)地域 Mr. Sello Komoreg
  - b) アジア地域 Mrs. Theresa Cheong (シンガポール) 城 JCNA 会長が6月 JCNA 活



動報告を追加(同封参照・反応好評)

c) ヨーロッパ地域 Mrs. Isa Wilson

d) アメリカ地域

1 1) 委員会報告 : a .会計 b 専門職 c 倫理 d 家族 e 広報編集 f 老人

1 2) 代表 a WHO b UN Non-Governmental Organization

そのたの主な事項

1) Ecclesiastical Advisor 候補 Fr. Thomas Nazirn OFM (International Advisor)

Pontifical Council for the Laity からの承認を得た Private Organization.

2) Fr. Joblin (創立以来の立派な Advisor)

贈り物を辞退したので、役員会は同師と夕食会を開催し謝礼とした。

3) 次回(2013年)の世界大会(国際会議)はクロアチアで5月が予定された。同国は50年間共産圏で司教が16年間牢獄での生活後殉教した。(現在98%カトリック)

4) 選挙の結果、新国際会長(International President)はSr. Ann John (India)

総秘書 Mr. Sello (Africa E. Region)

総会計 本部役員会メンバーの不足で、候補者を全世界カトリック看護協会に呼びかけたが、なかなか選出されていない現状。

(日本の城J C N A会長にアジア会長をメーハン世界会長等からの強い要望があったが、沢は同人が会長に就任したばかりであり、重荷と断り辞退した。)

5) 事務局移転 CICIAMS Headquarters をアイルランドから Roma に移転(ヴァチカンのそば)

6) 会計 財政上の困難のため、委員総会はメンバーの年会費の値上げを決定した。

1案 100名以下(200ユーロ) 100名以上(500ユーロ)

2案 100名以下(200ユーロ) 500名以下(300ユーロ)

その上(500ユーロ)

J C N Aは2案に賛成した。また、自らの財政困難を説明した。会計担当者から、規定の期日までに、必ず、納入するように要望された。6月末が期限である。J C N Aの事情を説明して了承された。

6月26日(火)

第5回大会が行われた。荘厳ミサが10:05から12:15の間おこなわれた。

会議場から Cathedral of Child Jesus へ移動した。立派なカテドラルであった。祭壇にむかって正面円列に着席し、聖歌隊は St. Francis de Sale. Buomba 教区のひとたちで、アフリカの楽器を用いて、指揮者にリードされて、終始歌ミサで全曲歌って賛美した。マゾム枢機卿ほかザンビアの各大司教10数名および多数の司祭(各国から参加した



司祭を含む)による共同司式であった。

ミサの説教の要点 神が人間の生命の主人公です。生命は聖なるもの、神からの賜物です。人間は生命の権利を持っています。神の腕の道具です。人々を社会に復帰させ、神の手の働きをタッチさせましょう。神の仕事は触れることです。

6月26日(火) 13:00-16:00

会議はザンビア青年会館でおこなわれ、ヨゼフ・メルラード枢機卿の大会正式開会宣言がおこなわれた。

司会 はズル実行委員長がおこない、歓迎の辞はザンビアのヤンバ看護協会会長が述べた。出席国点呼は、国旗を掲げて起立しておこなわれた。開会は祈りと国家斉唱によりおこなわれた。歓迎の歌は看護学生が行列で踊りながら入場して行われた。

祝辞・挨拶は13名の枢機卿および司教のほか、政府・保健衛生局関係お等主体客のメッセージが紹介された。さすがにカトリック教国であり、異口同音に今回のテーマ：☆カトリックナースとは **Instrument of Healing** (癒しの道具)であり、癒すのは神ご自身で私たちの手を通して癒されることが繰り返された。

☆看護師は **Vocation** (天職 神からの召し) であり、**Profession** (専門職)そして **Instrument of Healing** (癒しの道具) である。この意識を日々忘れずにケアをすること。

☆神によって愛され、創造された人間の尊厳を忘れないように、優しさお生命の尊重を持ってケアすること。

☆人間の生涯へのサービスをする人であるように。創造された人間の尊厳を忘れないようにすること。

☆大司教は、カトリックナースとして病めるひとのケアにあたり、肉体は勿論、魂ケアを忘れない様にと云われ、カトリックナースは洗礼、病者の秘跡を受けるチャンスに導く義務があり、他のナースとは異なることを話された。

この度はカトリックナースとして、キリストの福音を伝える道具になるための具体的な生き方を示唆された、私自身の生ぬるい信仰生活から目覚め J CNA のメンバーとしての生き方の方策に気付かせるために神様がこのようなチャンスを与えて下さったのだと思った。旅行の準備段階から終わりまで城会長との旅によって、神がともにいて導いて下さったことに感謝し、大きな恵みに応えなければならないと言い聞かせて帰国しました。自分で理解した範囲での断片的粗末な報告となりましたことをお詫びします。以上



## 第57回日本カトリック看護協会全国総会報告

日時：2012年7月19日（木）13：30～16：00

会場：神戸・神戸ポートピアホテル（神戸市中央区港島中町6-10-1）

出席者：総会構成メンバー19名のうち出席17（14支部中12支部代表出席）委任状1により総会成立

顧問司祭 Fr.川上誠（本部・名古屋）、Fr.飯野雅彦（横浜）、Fr.パレタイン・デ・スザ（東京）、Fr.梅原彰（大阪）、Fr.林尚志（広島）、Fr.キッペス（福岡）、Fr.中濱啓司（長崎）

### I. 報告事項

#### 1. 2012年度第1回～第2回JCNA本部役員会・国内外渉外 事業報告

##### 本部役員会

- ・前回熊本での総会後が第1回となり、本日までに2回の役員会開催

##### 国外渉外

- ・CICIAMS アフリカ英語圏地区大会アフリカ・ザンビア会議（2012年6/25～29）開催。城会長とSr.沢が出席
- ・CICIAMS 役員は、国際指導司祭（セクレタリ）Fr.ジョブリンからFr.トーマス・メイロンに交代した。
- ・国際会長は、Sr.アン・ジョン（インド）が選挙にて決まった。
- ・総秘書はアイルランドからアフリカのミッタン・セイロに決まった。総会計はウェールズ。
- ・事務局はアイルランドからローマになった。
- ・また、各国の会費未納の件があげられ、会費値上げが決まった。日本の会費は年間300ユーロ。
- ・城会長の発表（英語）は、アジア地区のなかの日本について、自死の問題とエイズ問題等取り上げたもの。参加各国の共鳴を受け、高く評価された。（総会パンフレットp13～17参照）参加国全部に『ぶどう白書』が配布された。
- ・来年CICIAMS世界大会は、クロアチアにて行われる。

#### 2. 第53回JCNA全国大会（熊本・阿蘇）報告

- ・大会終了後、さっそく大会誌の作成にとりかかり、完成後各支部に配送。盛会に終わられたことに感謝。

#### 3. 第2回日本カトリック医療団体協議会全国大会について

- ・準備として実行委員会では審議を尽くしてきた。本番は明日に控えているが、参加者は334名の見込みと聞いている。

#### 4. 会計監査 交代

- ・6年間会計監査を担当して下さった宮本信代氏退任。新たに大脇公子氏、新井ミエ子氏（継続）の2名で担当していただくことになった。



## II. 審議事項

### 1. 2012年度JCNA活動方針

自死防止に役立つ「ぶどう白書」の紹介を含め、解説。

### 2. 第56回JCNA全国大会 開催地支部(2014)～東京支部・西村支部長より～

具体的なことは何も決まっていないがよろしく、との挨拶あり。

### 3. 第57回JCNA全国大会 開催地支部 (2015)

この場での立候補はなく、後日検討して、お願いさせていただくこととする。

### 4. 第55回JCNA全国大会 開催関係 ～仙台・古関支部長より～

苦しみ、悲しみを乗り越えて、の意で大会準備に臨んでいる。

2013年10月25、26日(金、土)でプログラムは講師2名とパネラーを迎える。

年明けにお知らせを出しますので、よろしくお願ひします。

### 5. 第58回JCNA全国総会 開催日時

2013年10月25日(金)9時00分開催。仙台大会 開催当日の午前中であることを確認。

### 6. JCNA会計 中間決算の承認 ～本部会計・Sr.沢より～

会計年度が変更となり、本日の報告内容は5月27日の本部役員会で承認されたものである。年度末期日が8月31日であるので、それまでのあいだに支出入も動く。8月31日の時点で正式な2011年度の決算報告と2012年度予算がはっきりする。その報告は次回の仙台大会での総会で報告し、承認いただきたい。

また、それまでの支出入については、本部役員会において慎重に検討し運用していくので、そのことも承認いただきたい。

⇒異議なく、満場一致にて承認

### 7. その他 本部・支部提案事項

・新入会者の対応と連絡の件

インターネットによる方法が案内され、今後もホームページの充実と入会者の増加につながるようにしていきたい。

### 8. 本部役員選挙

本選挙に際し、公示し事前に候補者を募ったところ、推薦の連絡はなかった。

そこで本部からの提案は、今回任期満了となる現職4名の再選と、あらたに新任役員が3名加わる形の候補者の推薦があり、はかっていた。

《現職》Sr.沢禮子、津波古澄子、河野小夜子、清水みどり

《新任》西山悦子、塚本尚子、大石千真子

が満場一致で承認された。

なお、会長より長い間、ボランティア価格で伯川雅美氏が努力を続けてきたからこそその現在があることへの謝辞が述べられ、9月から新体制で大石千真子氏による新事務局開設(会計兼務)と同時に、支部長方には通知をすることになると連絡。

副会長はSr.沢に継続をお願いし、更に経験長いC I C I A M S担当を改めて依頼すると同時に、海外会議出席の同行を依頼。



■2011年度 第5回：2012年8月26日（日） 会場：上智大学聖母目白キャンパス

#### I. 報告事項

1. 日本カトリック医療団体協議会平成24年第2回運営委員会について

アジア・カトリック医師会の件。この開催が日本になる場合、日カ医療団体協が合同での開催について検討がなされている。開催決定は、来年1月以降。それを受けて具体的検討に入る。

#### II. 審議事項

1. 2013年度JCNA全国大会（仙台）への協力について

2. 事務局移転について、城会長より以下のことが報告された。

移転日程：9月1日 移転場所：川崎市宮前区菅生4-16-7

3. 本部役員 役割分担 審議未了で会議 終了

■2012年度 第1回：2012年11月18日（日）会場：上智大学 聖母目白キャンパス

\*祈りのあと、今回より薄島氏が大石復帰まで役員復帰し会計と事務局を兼務する意志を表明、一同合意。

#### I. 報告事項

1. 2012.9.1. 事務局移転に伴う「会則改正」の件 配布資料；A33枚（JCNA 規約）

新規口座開設のため、規約の該当箇所一部を訂正し、使用。（期限が迫っており、総会を通していないことを確認。次回の総会にて決定を促す）

2. 2011年度JCNA会計 決算について

会計年度の期間変更に伴い、混乱が生じたと思われる。振替であるとか、出納帳への未記載などがあった。決算報告作成の行程と今後のために会計業務についていくつか提案がだされ、資料配布と説明があった。説明後に承認。

3. JCNA事務局移転終了に伴う件

従来使用の口座移転は大変な手間がかかるので、新規口座を開設することとし、前口座の残高を0とし全額移したことが報告された。

4. 会長の札幌講演と札幌支部の活動、10月講演会交流会報告

「いのちと信仰『ぶどう白書』から自死を思い留まらせるJCNAの試み」と題して会長が講演。

5. 上智大学コミットメントセレモニー（11/10）に出席

「聖母大学」の灯火が「上智大学」に引き継がれたことを確認した、という感想を持った。



## II. 審議事項

### 1. 「会則改正」の承認の件

報告事項1. に関連して発生する重要事項として第九章 附則と本部所在地が承認され、次回総会での議案になることを確認した。

### 2. 2012年度J CNA会計 予算書審議

配布資料；予算書、予算書明細書A 4各1枚

・今年度は全国総会・全国大会など主なものが次年度に入り、通常の予算編成と異なるので、予備費を20万円とし、随所で不足になれば、この予備費を使うことにする。

・本部役員交通費の考え方

全国大会先での本部役員会開催に関わる交通費は支部長と同じ個人負担扱いとする。

・復興支援として仙台支部へは昨年20万円を差し上げてきたが、今年度からは見舞金として5万円をしばらく続けることを決定。

⇒ これらを踏まえて予算案が承認された。

### 3. 第57回(2015年)全国大会候補地について

会長より広島支部に打診していたところ、内諾の返答があった。

次回総会で公表する。

### 4. 本部役員 役割分担についての再検討と補充の件、本部役員辞任届の件

役員より辞任意向が表明され、届けが提出されて受理。後日、またメールにて辞任意向が示されているが保留とした。

役員補充の件では、薄島さんの意向として、支える責任から本部役員を引き受けるが「事務局」は臨時と考えていることを確認。

また、会長がクロアチアへ出かけていく間、会長代行を薄島さんへ依頼。

## III. 事務局より

・「会員証 変更」の件

裏面に発行年月日を記載した。

名古屋でPC操作を依頼して作成されたものなので経費は紙代のみ。

次年度より有効期限を明記したい。

■2012年度 第2回：2013年3月3日(日)会場：上智大学 聖母目白キャンパス

## I 報告事項

### 1. 日本カトリック医療団体協議会 平成24年度第3回運営委員会報告

赤字補てんは医師会と医療施設協会で1対2で行われること。



## II 審議事項

1. 2013年度JCNA全国大会（仙台）協力について  
2012年度は災害復興支援の見舞い金として5万円をおくる。
2. 2013年度JCNA全国大会（仙台）の質問の回答について
  - ①全国大会  
大会費；懇親会費込で、15000円の提案があり  
内訳は大会費10000円、懇親会費5000円。役員一同承認。
  - ②全国総会  
弁当代；総会費用として予算計上予定。本部が対応する。  
総会会場費；午前中の総会会場費は本部が持つ  
使用時間は総会午前中9時から13時まで（@8000円×4時間）は本部  
が持つ。  
総会出席人数；例年25人程度と回答する。
3. 広島支部(2015年57回全国大会開催予定)の会員発掘協力について  
開催地は広島・山口いずれも会員が最も活動しやすい場所で決めていただいて良いのではないかと意見があった。

## III. その他

1. 本部顧問司祭の件  
2013年2月14日付で、横浜支部顧問司祭 飯野雅彦神父様が本部顧問司祭として就任。  
今後どのように関わっていただけるか、(具体的な行動レベルで) 打ち合わせをさせていただきますこととなる。

### 支部長さま・支部役員の皆様へお願い

第58回JCNA全国総会のため、各支部の活動報告等の資料提出を  
JCNA事務局 ☎468-0015 名古屋市天白区原 1-505-902 宛に  
お願いいたします。(締切8月31日)



JCNA 全国大会 in 仙台にご参加のみなさまへ

## タッピングタッチ体験コーナーへのお誘い

暑い夏が近づいてきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。全国大会 in 仙台のチラシ、プログラム等、各支部に郵送致しましたが皆さまの手元に届いておりますでしょうか？ 10月には仙台で皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

今回は、大会の正式なプログラムではありませんが、みなさまにとっても役立つと思われるケアのプログラムをご紹介したく、資料を送らせていただきました。「タッピングタッチ」という心と体のケアです。NHK や朝日新聞その他で紹介されましたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。震災直後から避難所で使われ、仮設住宅になってからも集会所での「お茶っこ会」などの時に使われており、とても好評です

私もカリタスジャパン石巻ベースで偶然に体験をすることができ、その有効性に驚かされました。それ以降、機会を探してはタッピングタッチを学び、いろいろな場面で使っています。みなさまが被災地支援に行かれるとき、また普段の看護や介護の場面などでも必ず役立つケアであると思います。どうぞこの機会にぜひタッピングタッチをご体験下さい。

今回は特別に、タッピングタッチ協会の認定インストラクターの方々に仙台までおいでいただき、タッピングタッチ体験コーナーをしていただきます。大会初日(10/25)の開会式前の午前中にホテルで、二日目(10/26)の大会終了直後と翌日(10/27)の朝ミサ終了後に元寺小路教会で体験することができます。体験時間はわずか15分程度です。大会にいらっしゃる機会を利用して、ほんの少し早めに到着されるか、終了後ちょっとだけ残る時間を作って、ぜひ3回のうちどこかの体験コーナーにおいて下さい。一人でも多くの方のご参加・ご体験をお待ちしております。

2013年7月15日

JCNA 仙台支部長 古関 睦

※今回ご協力いただく認定インストラクター中田利恵さんと中田康裕さんは、カトリック横浜教区の二俣川教会に所属されています。震災後は、地元での被災地支援活動とともに、カリタスジャパン石巻ベースやカリタス釜石等でタッピングタッチボランティアを続けています。